

立命館經濟學

第二卷 第二号

昭和二十八年四月

内 容

論 説

- 社会の階級性について……………阿 部 矢 二…(1)
—— 学 生 諸 君 へ ——
- 事業課税の外形と本質……………箕 浦 格 良…(16)
- スウィーージー恐慌論の批判……………松 田 弘 三…(52)
—— 恐慌論の基本問題について(三) ——

研 究

- 連関財に関する一考察(一)……………山 田 邦 臣…(81)

講 座

- 税務会計における貸倒準備金の繰入処理……………高 尾 忠 男…(104)

書 評

- T・E・ミード・国際収支論……………村 瀬 武 三 郎…(111)
—— 国際經濟政策理論 第一卷 ——

立 命 館 大 学 經 濟 学 会

立命館経済学 第二巻・第一号

論説

資本論冒頭文節の体系的意味

梯 明 秀

郷土産業考察の一例（下）

淡 川 康 一

講座

任意標本調査法（二）

関 弥 三 郎

研究

近世山城における在郷商人の商業経営について

——乙訓郡神足村綾油商「油屋弥兵衛」について——

足 立 政 男

O・H・Taylor の シュムペーター学説における「帝国主義論」「社会階級論」の位置づけについて
浜 崎 正 規

発行所 立命館大学人文科学研究所

立命館大学人文科学研究所紀要第一号

パスカルの Horror Vacui と実験的方法
——科学と哲学との関連を辿るための試論——

形式的真理と存在の問題
市民社会においての市民の人間の自己解放
——マルクスにおける自己疎外と具体的「一般者」——
山 元 一 郎
阿 部 敬 吾

法と道德との区別に関する諸問題
イデオロギーとしての社会学
——アメリカ社会学史序章——
梯 明 秀
天 野 和 夫
細 野 武 男

リカアドオ経済学の二大支柱
奈良絵本考
剪燈新話と雨月物語との関係
ヘレネツムにおけるボリス的財産観
井 上 次 郎
清水 泰 郎
後 藤 丹 治

居延漢簡と漢代の財産税
藤原惠美押勝の乱
——日本古代政治史のための断章——
高 橋 良 三
平 中 次 夫
北 山 茂 夫

上層町衆の系譜
——京都に於ける三長者を中心に——
明治維新とナンヨナリズム
わが国都市労働における封建性と労務供給請負業
——わが国都市労働における封建性に関する試論——
林 屋 辰 三 郎
奈 良 本 辰 也
大 山 敷 太 郎

勤労者の意識
——おくれたものと進んだもの——
中国の新民主義革命と新民主義経済
阿 部 矢 二

米国による対外援助の国際政治的意義
——第三期帝国主義に関する一試論——
武 藤 守 一
前 芝 確 三

末川博士略歴 末川博士著作年表
発行所 立命館大学人文科学研究所